

2020年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	美容実習Ⅵ(サロンワーク)	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	単位 時間	2 60	曜日・時限	月曜 1・2限
教員	藤雄貴子・岩田健志・川井由里絵・高倉勇也						
<p>【到達目標】 美容に携わる上で必要な知識と技術を身につける。接客用語・接客技術を用いて幅広い年齢層へご要望に応えられる人材になる。</p>							
<p>【授業の学習内容】 美容の職業に携わる人材としての接客用語及び接客技術を習得する。基礎的なシャンプー技術・ブロー技術・スタイリング技術を用いてお客様のご要望にお応えする知識・技術が提供出来るようにする。</p>							
<p>【教員実務経験】 私達が現場で培ってきた技術、知識を元に美容師のプロになる為の専門的な技術、知識を習得する授業を行う。美容の技術の楽しさ、やり甲斐、難しさ、心構えを授業をしていく上で自ら考えて、発見しながら受講して欲しい。ノート以外にも常にメモを取る、少しでも疑問や不安を無くす為。</p>							
	日程	授業形態	授業計画・内容				小テスト・定期試験
1	1回目	実習	【授業目的の確認、接客用語の確認、タオル、クロスの付け方、お流し、泡立て】				
2	2回目	実習	シャンプー技術の確認: シャンプー技術の時間の統一、シャンプー接客用語の統一				小テスト5点
3	3回目	実習	マッサージ技術: マッサージ技術の統一(頭皮マッサージ・肩マッサージ)				
4	4回目	実習	スタイリング技術: メンズ・レディースのドライ・スタイリング 時間の統一				小テスト5点
5	5回目	実習	サロンシュミレーション: (ご案内・シャンプー・マッサージ・スタイリング・お帰り迄)				
6	6回目	実習	サロンシュミレーション: 中間試験ミーティング・予約状況の確認				
7	7回目	実習	中間試験:モデルサロンワーク				中間試験20点
8	8回目	実習	サロンワーク振り返り:中間試験での技術・接客の見直し				
9	9回目	実習	サロンシュミレーション:技術・接客の改善				小テスト5点
10	10回目	実習	相モデルでの技術・接客の向上				
11	11回目	実習	サロンシュミレーション				
12	12回目	実習	相モデルでの技術・接客の向上				小テスト5点
13	13回目	実習	サロンシュミレーション:期末試験ミーティング・予約状況の確認				
14	14回目	実習	期末試験:【フルシャンプー~スタイリング技術を適切な接客用語を用いて施術】タイム50				期末試験50点
15	15回目	実習	期末試験フィードバック・成績評価				小テスト10点
準備学習 時間外学習	準備: 時間外学習: 授業のノート整理、項目の復習、過去問題の練習						
評価方法	<p>●習熟度 : 100点(到達目標に対する成長具合や習熟度) ◇出席 : TS・実践・TB・HM・BR・国Bは70%以上、美容師は出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる) ◇合否 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失、F:59~0)、 実習や習熟度が測れないものについてはS・U評価</p>						
受講生への メッセージ	美容に携わる人材として、授業姿勢や授業態度、礼儀、礼節を意識して欲しい。授業が始まる前には必ず持ち物を準備しておく事。道具の貸借りは紛失するのではない事。						
<p>【使用教科書・教材・参考書】 シャンプー・トリートメント、タオル6枚、ダッカール、デンマンブラシ、ドライヤー、筆記用具</p>							